

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	地域防災・復興小委員会	主 査 名：加藤孝明 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：出口敦
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	1. 公開研究会（或いは、公開小委員会）の開催を通して、被災地の復興、及び、南海トラフの被害想定地域での減災・防災の動きを共有する。 2. 「復興・減災の現状の動き」をテーマとするオーガナイズドセッションを開催。 3. 世界の復興事例（2009 年 PD）の成果をとりまとめて原稿とする。（WG1） 4. 事前復興・復興準備の取り組み状況を共有する（WG2）	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：有 加藤孝明（東京大学）、牧紀男（京都大学）、廣井悠（名古屋大学）、岡田成幸（北海道大学）、市古太郎（首都大学東京）、越山健二（関西大学）、大西一嘉（神戸大学）、澤田雅浩（長岡造形大学）、竹谷真一（国総研）、紅谷昇平（神戸大学）、山田悟史（立命館大学）	
設置 WG (WG 名：目的)	1. 復興事例刊行 WG：2009 年度大会 PD にてテーマとした世界の復興事例を活字化し、出版原稿を作成することを目的とする。 2. 事前復興・復興準備 WG：事前復興、或いは、復興準備の取り組みの事例収集、そのあり方について議論を行う。	
2013 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 3 月に研究会の開催を企画したが、年度末での開催は難しいという事務的理由により 5 月に延期した。 2. 同様のシンポジウムが東北大学主催で開催されたことから重複開催をさけた。 3. 準備を進めている。 4. 検討を行っており、来年度以降成果の公開を考えている。
委員会活動の問題点・課題	1. 東日本大震災からの復興が継続し、首都直下地震、南海トラフ巨大地震の被害想定が新たにつぎつぎと発表される等、状況が日々変化しており、最新の状況を踏まえた検討会を行う予定であったが、実施することができなくなった。 2. 東日本大震災の被災地で復興にかかわる研究会が数多く実施されており、そういった研究会とのすみわけが必要 3. 他学会でも同様の検討が行われており、調整が必要。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。